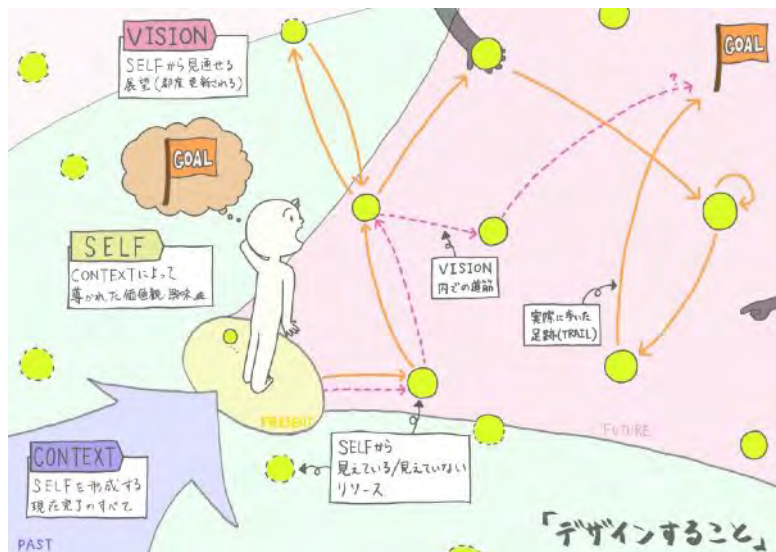


220112
第2回

学びを自分でデザインする子を育てる会

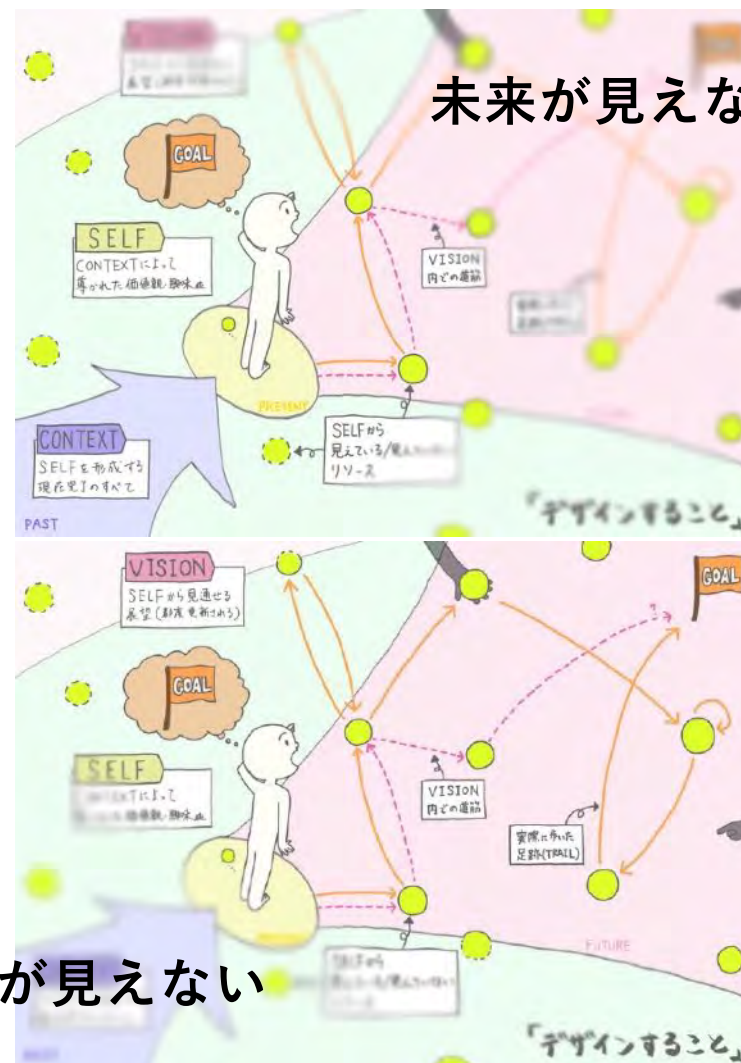
Class 検討委員会
東京学芸大学附属世田谷小学校
河野 宮田 久保

「学びを自分でデザインする」ために



これまで～してきて、
未来は～したくて、
だから、今は、～するんだ！

未来が見えない



過去が見えない

Classの機能

Class/クラス=教科学習

-子どもの経験世界を広げ、「デザイン」につなげる-

- 同じ学年のみんなで学習します
- 教科の先生の教室に行って学習します
- 学年を3つのクラスに分けて学習します
- 1、2年生は担当の先生と一緒に、生活から学習をつくっていきます
- 3年生以上は、「専科」の先生と、国語・社会・算数・理科・音楽・図画工作・家庭科・体育・英語を学びます



「デザイン」の実践につながる文化・科学の「見方・考え方」の拡張、基礎的な内容の定着、「学び方の学び」

学校における「学び」とは何か
—「習得」から「参加」へ—

- 「～をした」「～ができる」
という「行為」ではない
- この具体的な行為を目標とし、評価することが教育において当為となっている



学びをデザインするための前提として
各教科の
「見方・考え方」「資質・能力」
は必要になる

⇒Classでの学び

Classの時間数

学校教育法施行規則第51条
標準時数

世田谷区立小学校
世田谷9年教育

本校のClass
「学びを自分でデザインする」
子どもを育む学校の創造

別表第1（第51条関係）

区 分	各 教 科 の 授 業 時 数										道徳の授業時数	外国語活動の授業時数	総合的な学習の授業時数	特別活動の授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		102	68	68		102		34			34	850
第2学年	315		175		105	70	70		105		35			35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	70	35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	70	35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35		70	35	1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35		70	35	1015

	小学校						中学校		
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
日本語	34	35	35	35	35	35	35	35	35
国語	306	315	245	245	175	175	140	140	105
社会	—	—	70	90	100	105	105	105	140
算数／数学	136	175	175	175	175	175	140	105	140
理科	—	—	90	105	105	105	105	140	140
音楽	68	70	60	60	50	50	45	35	35
図画工作／美術	68	70	60	60	50	50	45	35	35
体育／保健体育	102	105	105	105	90	90	105	105	105
家庭／技術・家庭	—	—	—	—	60	55	70	70	35
生活	92	95	—	—	—	—	—	—	—
外国語活動／外国語	—	—	—	—	35	35	140	140	140
道徳	34	35	35	35	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間	—	—	35	35	35	35	15	35	35
特別活動	34	35	35	35	35	35	35	35	35
合計	874	935	945	980	980	980	1015	1015	1015

区としての時数を定めつつ、
各校の特色を重視する。
カリキュラム・マネジメントの必要性

- ・Society5.0
- ・デジタル・トランスフォーメーション（DX）
- ・持続可能な開発目標（SDGs）
- ・地域に開かれた教育課程
- ・学習指導要領の改訂
- ・小学校の教科担任制
- など

○年間時数

学年		標準時数（375分）										Homeへ		Laboratory+Home の時間		特別活動	総合的な 学習の時間	外国語活動
		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	外国語活動 （15分標準）	外国語活動 （30分標準）	特別活動 （30分標準）	総合的な 学習の時間			
1	標準時数	306		136		102	68	68		102		34			34			850
	R4	265		120		85	60	60		87		34			34		105	850
	標準→R4	41		16		17	8	8		15		0			0		0	0
	週時数																5	0
2	標準時数	315		175		105	70	70		105		35			35			910
	R4	275		156		90	62	62		90		35			35		105	910
	標準→R4	40		19		15	8	8		15		0			0		0	0
	週時数																5	0
3	標準時数	245	70	175	90		60	60		105		35	35	70	35			980
	R4	210	60	140	80		60	60		70		35	35	0	35	90	105	980
	標準→R4	35	10	35	10	0	0	0		35		0	0	0	70	0	0	0
	週時数	6	2	4	2		1.5	1.5		2		Homeへ	1	ラボ	Homeへ		5	0
4	標準時数	245	90	175	105		60	60		105		35	35	70	35			1015
	R4	210	65	140	80		60	60		70		35	35	0	35	120	105	1015
	標準→R4	35	25	35	25	0	0	0		35		0	0	0	70	0	0	0
	週時数	6	2	4	2		1.5	1.5		2		Homeへ	1	ラボ	Homeへ		5	0
5	標準時数	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35		70	35			1015
	R4	115	90	140	90		50	50	60	70	70	35		0	35	105	105	1015
	標準→R4	60	10	35	15	0	0	0	0	20	0	0		70	0	0	0	0
	週時数	3	2.5	4	2.5		1.5	1.5	1.5	2	2	Homeへ		ラボ	Homeへ		5	0
6	標準時数	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35		70	35			1015
	R4	115	100	115	90		50	50	55	70	70	35		0	35	125	105	1015
	標準→R4	60	5	60	15	0	0	0	0	20	0	0		70	0	0	0	0
	週時数	3	3	3	3		1.5	1.5	1.5	2	2	Homeへ		ラボ	Homeへ		5	0

いわゆる教科学習の時数を
HomeとLab.へ振り直す

学年	標準時数（375分）										Homeへ		Laboratory+Home の時間		特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	外国語活動	外国語活動	特別活動	総合的な学習の時間			
3年・4年	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金
5年	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金
6年	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金	月火水木金
1	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	外国語活動	外国語活動	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動	総合的な学習の時間	外国語活動
2	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	外国語活動	外国語活動	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動	総合的な学習の時間	外国語活動
3	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	外国語活動	外国語活動	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動	総合的な学習の時間	外国語活動	総合的な学習の時間	外国語活動
4	音図	図体	体英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英

「学びを自分でデザインする」の
実現にむけて

Classの実際

新しい一日の生活は…						
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:20~9:00	40分	Home（朝の会・Home活動）				
	10分					
9:10~9:50	40分	Class 教科学習 40分×4コマ×週5日 1・2年生：低学年総合 3～6年生：専科制（教員のいる教室に移動）				
10:00~10:40	40分					
中休み	20分					
11:00~11:40	40分					
11:50~12:30	40分					
12:30~13:50	80分	Home（給食・掃除・Home活動）				
	10分					
14:00~15:20	80分	Home 代表者会議	Laboratory		Laboratory	Home

1・2年生は、**Home**の担任の先生といっしょに生活から学習をつくります（各教科の要素を埋め込む）

[illegible]

本校各教科・領域部からみた総合学習を通して育てたい力と体験させたい事柄

Classでは、同じ学年の子と学びます。
1 クラスは3 5 人ほどです。
年に数回、メンバーを変えることを検討中です。

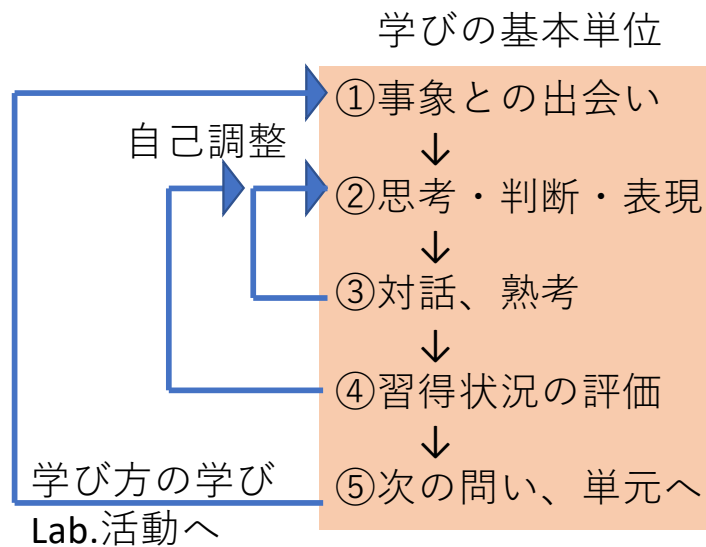


タブレットPCや教科書、
ノートをなどを手提げバッグに
入れて、Class毎に
教室を移動します。



Classの要件

- ・ Lab.における「問いの発見」、「自立した探究活動」、「協働」などが学びのデザインに不可欠
⇒そのために必要なコンピテンシー、スキル、コンテンツは、
Classで育成します。
※Lab.内でもこれらを発揮し、育てていきます。



- ・ Classの限られた時数で、効率的に充実した教科学習を行う。

- ①各教科の見方・考え方を十分に働かせる
- ②「学び方」を学ぶ、自己調整学習
- ③相互啓発、建設的相互作用の資質・能力の育成
- ④スキル、コンテンツの習得
- ⑤良質な問いの生成（続きはLab.で）

各教科の見方・考え方、資質・能力とは？

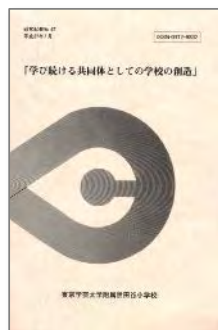
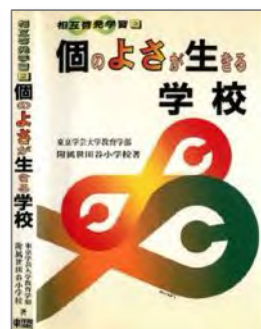
スタジオジブリ「となりのトトロ」より



学んだことを活かして、**自在に考えられる！**

「今、自分はどんなタイプの見方や考え方を使っているかな？」

先人の知恵を生かしつつ、その先へ ～巨人の肩～



①各教科の見方・考え方を十分に働かせる

本校における各教科の見方・考え方は妥当か



⇨以前の校内研究にて、「自信」と「各教科・領域」の関係について考えた。
現研究の「学びを自分でデザインする」に「自信」は関係するはず。

今の規準で改めて問い直し、Classの時間を充実させる。

- ・その見方・考え方は【自在に発揮（他単元やLab.など）】できるものか。すべきものか。
- ・各単元の本質的な問い、単元を貫く問いを吟味し、

**各教科の学びの価値を全教職員で、検討し共通了解する。
何のために学ぶのか。**

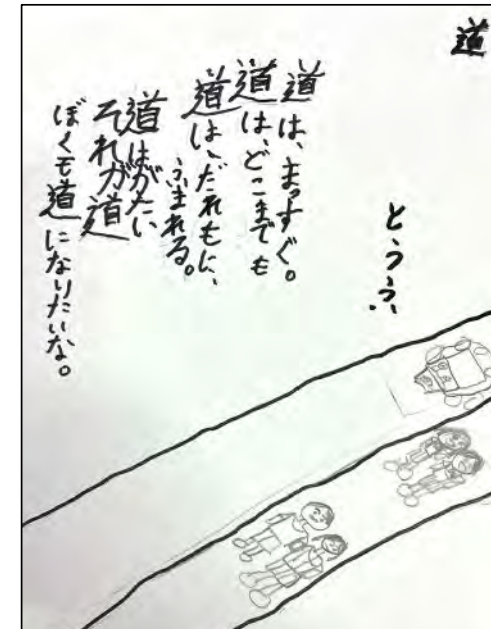
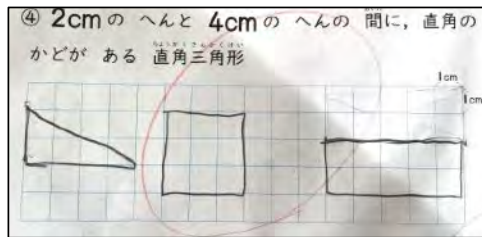
OPPAの例

③相互啓発、建設的相互作用の資質・能力の育成

対話が必要な授業か。

- 対話が問題解決に必要なようになるような授業構成を工夫する。
⇒全教科、全単元がやりがいのある、対話したくなるClass

※反復練習や暗記が必要な単元や内容もあるが、重点を置かない。
使いながら身に付けていく。



- ソーシャルスキルや向社会性の育成、ICT（広義の情報活用能力）スキルも、各授業に埋め込んでいく。使いながら習得する。

⇒週に1時間（年35時間）を
情報活用能力の育成にあてる。

各学年の目標リスト		
小学校：低学年	小学校：中学年	小学校：高学年
①タブレットの持ち方、片付け方、基本事項などについて知る。 ②タブレットを持って授業で学習できることである。 ③授業中にタブレットを使って学習することである。 ④授業中にタブレットを使って学習することである。 ⑤授業中にタブレットを使って学習することである。	①パソコンの機能と基本的な操作やファイルの操作などについて知る。 ②インターネットの基本的な操作やウェブサイトの検索などについて知る。 ③インターネットの基本的な操作やウェブサイトの検索などについて知る。 ④インターネットの基本的な操作やウェブサイトの検索などについて知る。 ⑤インターネットの基本的な操作やウェブサイトの検索などについて知る。	①情報やデータを活用して学習することである。 ②情報やデータを活用して学習することである。 ③情報やデータを活用して学習することである。 ④情報やデータを活用して学習することである。 ⑤情報やデータを活用して学習することである。
①授業中にタブレットを使って学習することである。 ②授業中にタブレットを使って学習することである。 ③授業中にタブレットを使って学習することである。 ④授業中にタブレットを使って学習することである。 ⑤授業中にタブレットを使って学習することである。	①授業中にタブレットを使って学習することである。 ②授業中にタブレットを使って学習することである。 ③授業中にタブレットを使って学習することである。 ④授業中にタブレットを使って学習することである。 ⑤授業中にタブレットを使って学習することである。	①授業中にタブレットを使って学習することである。 ②授業中にタブレットを使って学習することである。 ③授業中にタブレットを使って学習することである。 ④授業中にタブレットを使って学習することである。 ⑤授業中にタブレットを使って学習することである。

⇒本校におけるH29教育の情報科推進事業

情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

①情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
②情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
③情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
④情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解
⑤情報社会の発展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響についての理解

④コンテンツの習得 どのように学ぶか。文化、科学に触れているのか。

④剥落しないスキル習得の方法

学びに向かいたくなるコンテンツになっているか。

⇒これまでは、担任の専門性や個性によって工夫された探究的教科学習が研究、実践されてきた。

⇒探究はLab.へ

一人一人が学びたいことを実現できるように
学習環境をデザインする。

⇒学びの真正さと「持続可能な開発目標（SDGs）」の関連



④習得状況の可視化（テスト）と支援

⇒スキルやコンピテンシーを可視化する。

各教科の授業にパフォーマンス活動を埋め込み、
「知っているか」「わかっているか」「できるか」を見取り、支える。
パフォーマンス評価の相互検討会を行い、教師の授業改善に努める。

ふりかえりテスト（校内）は、
瑣末な「用語の再生」より、パフォーマンスを評価する。

道しるべ（通知表）、個人面談にも活用して
ご家庭と学校で共通理解をして、子どもの成長を支える。

第4問

Kさんたちは、10g、20g、30gの小球を用いて、振り子をつくりました。糸の長さを調節することによって、ようになっています。ここでいう振れ幅とは、振り子が振れは、50度を超えないようにするものとします。このことによ



(1) Hさんたちは、おもりの重さ、振り子の長さ、ふれはばという3つの条件と、振り子が1往復するのにかかる時間との関係について調べることにしました。ところが、3つの条件のうち、変えてもよいのは、1つの条件だけです。その理由を分かりやすく説明しましょう。

「振り子の周期は、糸の長さが関係する」
という宣言的知識だけでなく
「実験計画を適切に立てられる」

パフォーマンスも重要

⑤良質な問いの生成（続きはLab. でも）

ClassとLaboの往還

- ・教科学習を学ぶと、「さらなる問い」が生まれるときがある。

知ったから、「知らない」がわかる。

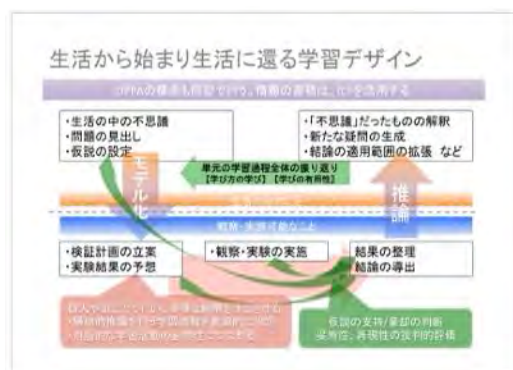
「もっと知りたい」

⇒真正な文脈で学ぶ（何のため？）と「問い」の生成を促す。

とはいっても...

- ・見方・考え方の自在な発揮は難しい。

⇒ClassにLab.的要素を入れ、橋渡しを行うこともある。



ベンキョウ終わり！

やめていいよね？

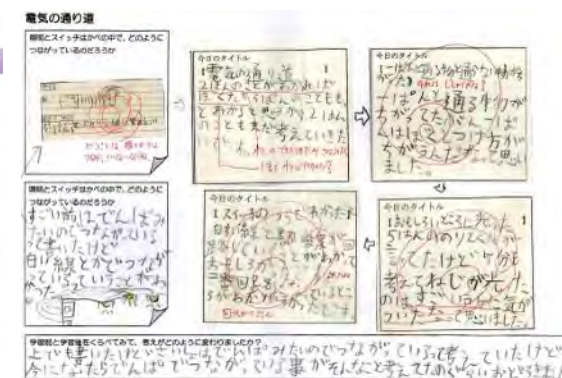
ものが燃えるには、酸素が必要である。



より効率よく燃やすには？

効率よく燃やす必要性は何か？

2 「生活に始まり、生活に還る」実践事例3年「電気の通り道」



学びを自分でデザインするための学習環境

- 学びを自分でデザインするために以下をClassでは重視します。

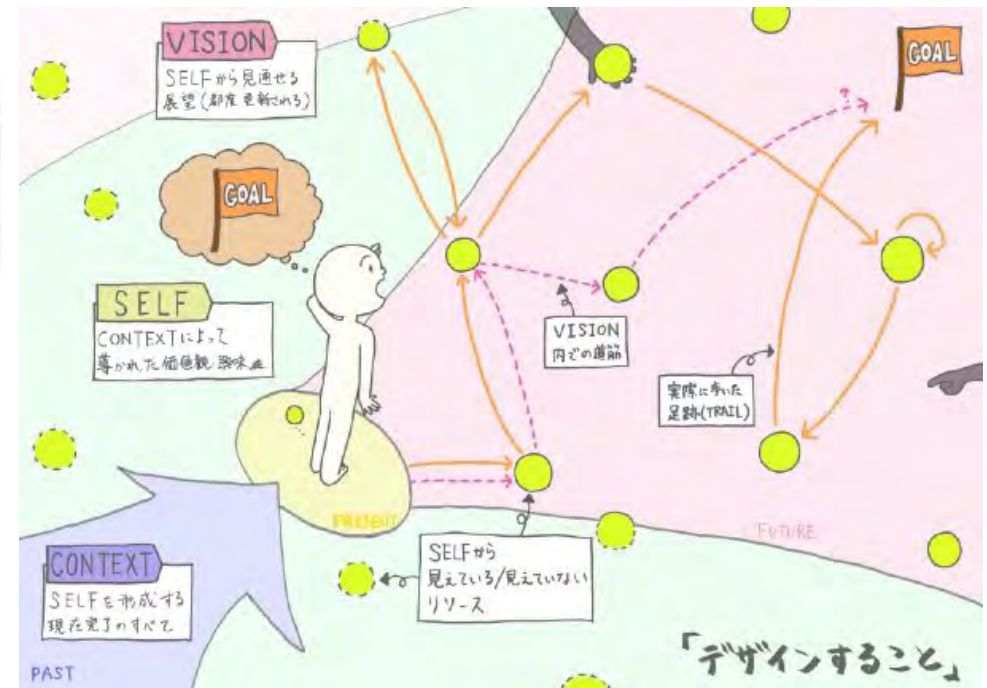
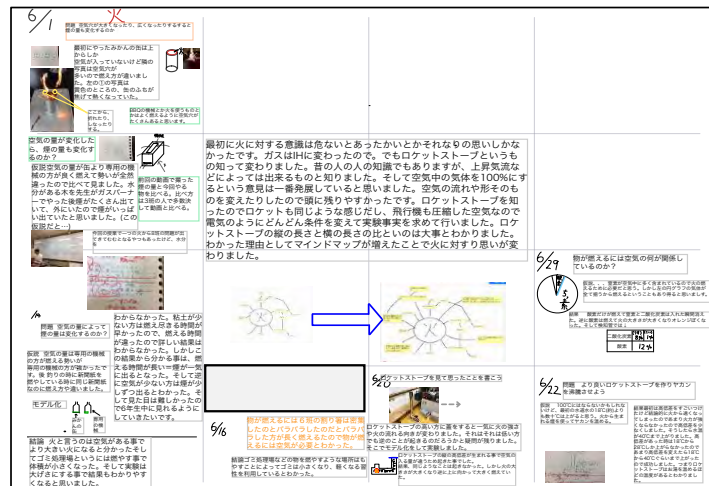


学習者が自己認識を深めること

⇒学習履歴の蓄積と活用が重要になる。

知を深化・拡張し、構造化し、使っていくこと

⇒Class、Home、Lab.のそれぞれの担当が
学習者の過去と未来に寄り添い、伴走することも重要になる。



これまで～してきて、
未来は～したくて、
だから、今は、～するんだ！

来年度に向けて

12/22 前述の「Classの要件」に従い、各教科部が1単元の詳細、1学年の年間配列を提案
⇒協議し、了解を経て、冬期休業中に他単元、他学年を作成

1月 各学年、各教科、縦横にスキルとコンテンツの関係を整理し、教科横断的パフォーマンス課題を作成

汎用的な「情報活用能力」なども加える

2月 3・5週間想定で、単元の実際的配列

理科や社会科で、問題解決の基本的な学び方を身につける。国語科で扱った内容を整理し、情報活用能力として後の探究に活用できるようにする。

1年生を迎えるウィークで、「1年生を迎える時間」といって各学年で1年生が休みの時間という形で、1年生や副クラスの動画を見て、表現を楽しみ次の活動への意欲を高める。

教科等で身に付けた問題解決能力を生かし、発展的な問題解決や個人の興味・関心に基づいた探究を総合的な学習の時間に行っていく。個々の活動が多いが、問題解決や探究の過程で、問題を解いて、共通の思考プロセスを共有し、成果物を用いて学年内・学校内、家庭に向けて表現活動を進める。

これまでの経験から互いの個性を認め合うようになった仲間たちと、「地域の方に伝える」という目標を共有し一人一人が身に付けた問題解決能力を生かした探究活動を行う。

全員が社会科と関連させ体系的に学ぶが、地域への愛着という点では、探究は海苔に限らない。

教科等	1学期	2学期	3学期
算数	異いものの重さのほかり方	重さのたんといはかり方	棒グラフと表
理科	自然の観察 ゴムや風力	ものの重さを測よう 光や風の性質 磁石の性質	ものづくり 電気の通り道 「おもちゃショーを開こう」
図画 工作		探究における表現の手段として関連	
音楽			
体育	リレーあそび ネット型ゲーム	表現づくり	ゴール型ゲーム
社会	わたしたちの大田区	くらしと安全 わたしたちのくらしと商店 くらしと工場	大田区のうつりかわり 昔の道具調べ
国語	もっと知りた い漢字の 本はともだち 図書館・図書室を使おう	【じょうほう】 全書と中心 はじめて知ったことを 伝えよう 【じょうほう】 利用する言葉 【じょうほう】 コンピュータの 調べや入力	【じょうほう】 手帳や日記を 「見て」伝える ほんで意見をまとめる 【じょうほう】 科学館みもの家とめ方 【じょうほう】 これがわたしの制作に入り【書】 わたしたちの学校にまん【前・型】
総合的な 学習の時間	身近な疑問を 解決して伝えよう 問題解決	学校の人に。お家の人に伝えよう 【個人の探究と交流】	地域の人に伝えよう 【チームで探究】
行事 特別活動 学級活動	1年生を迎えるウィーク	学習発表会（学校公開）	海苔付け体験 海苔煎り体験 もうすぐ 4年生
朝の朝 道徳	努力と強い意志 「はぐくみ小まなかにほかり」	（情報モラル） 伝統と文化の継承 「おばあちゃんのおせち」	朝の朝 道徳 「自分を思いやる心」

新年度、Classスタート

ご理解、ご協力のほど
何卒、よろしくお願いいたします